

## 医療施設における防災講話

### ～自衛隊の災害派遣の経験を防災訓練に生かす～



防災講話の様子

自衛隊栃木地方協力本部足利地域事務所（所長 本村1空尉）は9月13日（水）、あしかがの森足利病院（栃木県足利市）において、「陸上自衛隊の災害派遣」と題し、職員43名に対し防災講話を実施した。

本講話では、災害派遣の法的根拠や要請までの流れ、東日本大震災の活動をもとに、災害派遣の具体的なイメージや被災者のニーズの変化等を紹介した。

この病院では令和元年の台風19号による被害の際、建物の2階以上の高層階へ患者を移動する垂直避難を実施した経験から毎年防災訓練を実施しており、今回の防災講話は災害派遣の活動を理解してもらう非常に良い機会となった。また、講話後病院側で実施した、垂直避難訓練の実技の中では「自衛隊では階段の搬送はどのようにするか」と質問が出る場面もあった。

足利地域事務所は「今後も地域のあらゆるニーズに対応し地域密着の活動を継続する」としている。

## 4年ぶりに那須町「九尾まつり」広報展

### ～自衛隊をリアル広報!!!君は、将来どの仕事に!?!～



「全部ミックス」を楽しむ親子



軽装甲機動車で記念撮影



車両展示の様子

自衛隊栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 高井1陸尉）は、9月17日（日）に那須町文化センター駐車場等で行われた九尾まつりにおいて、那須町自衛隊家族会、那須町役場総務課及び中央即応連隊（宇都宮）の支援を受け、広報展を実施した。

「九尾まつり」とは、九尾の狐（きつね）伝説にちなんで行われているイベントであり、当日は4年ぶりの開催とあって、約1万2千の来場者で賑わった。

会場の車両展示スペースには、自衛隊の装甲自動車のほか、パトカー、白バイ及び消防車が並び、来場者の中には憧れのまなざしで車両の説明に聞き入る姿も見られ、大いに盛り上がりつつあった。また、帽子は「自衛隊」、服は「消防」、乗り物は「白バイ」とミックスして「将来、人の役に立つ仕事についてもらいたいのので全部混ぜてみました!」と、楽しそうに写真を撮る母親の姿も見られたほか、ヘルメット、防弾チョッキを装着し、その重さに、驚く場面が見られるなど、町民に自衛隊のリアルな魅力を体感してもらうことができた。また、那須町自衛隊家族会からは、制服試着支援や地域の知り合いへの声かけなど、積極的に本広報展に支援を頂いた。

大田原地域事務所は「今後も、家族会や役場と連携し、「地域密着型」の広報で募集広報の強化を図っていく」としている。

## 新しい横断幕で心機一転、足利に自衛隊の存在をアピール!



Before



After

自衛隊栃木地方協力本部足利地域事務所（所長 本村1空尉）は、9月19日（月）に東武足利市駅に隣接しているニューミヤコホテル足利において横断幕の張り替え作業を実施した。

足利地域事務所は、ニューミヤコホテル足利のテナントの一角に所在しており、同ホテルの協力のもと新しく作成した横断幕を掲げ、「自衛官募集中!」をより強力にアピールすることができた。また、横断幕は、東武足利市駅のホームから見える位置にあり、張り替え作業が行われている中、駅で電車を待っている人達からは「何を变えてるんだろ? ああ、自衛隊か!」との声があがるほど印象が強いものとなった。

足利地域事務所は「今後も、募集広報の幅を広め、多くの市民にあらゆる機会と手法により自衛隊をアピールしていく」としている。